

令和3年度（2021年度）第1回 熊本市社会教育委員会議

議事録（案）

【開催方法】 書面開催

【発送日時】 令和3年（2021年）8月20日 会議資料発送

【令和3年度（2021年度）第1回熊本市社会教育委員会議開催について】

熊本市社会教育委員の全委員により審議が行われており、会議は成立。

■熊本市社会教育委員

八幡 彩子 委員

奥村 浩介 委員

加藤 貴司 委員

小澄 直 委員

新道 欣也 委員

田中 洋子 委員

石井 憲子 委員

高木 沙織 委員

村山 淳子 委員

（順不同）

【会議資料】

- ・ 【議事(1)】 令和3年度熊本市社会教育関係事業概要について
- ・ 【議事(2)】 令和2年度生涯学習推進計画の取組状況について
- ・ 【報告(1)】 令和2年度（2020年度）図書館利用状況について
- ・ 【報告(2)】 金峰山少年自然の家再建に伴う新自然の家整備基本計画について
- ・ 参考資料（関係法令）

意見者	意見・質問等要旨																
【議事(1)】	令和3年度熊本市社会教育関係事業概要について																
	<学力向上対策経費について>																
委員	<p>子どもの学力向上は大変重要です。</p> <p>平成30年度までの学びノートから、タブレットの学びノート教室となり、令和元・2年度と移行期間を経ており、今年度は、成果の上がる取り組みをお願いします。</p> <p>また、予算を見ても、令和2年度の決算額1,758千円に対し、令和3年度の予算は4,400千円計上してあり、コロナ禍ではあるが、予算を有効に活用してほしい。</p>																
指導課	令和2年度から今年度にかけて、新型コロナウイルス感染防止に伴う対応で、各学校では、外部人材としての学びたいむサポーター活用が減少しました。今後、感染状況の改善次第では、更なるサポーター活用を呼びかけていきます。																
	<公民館主催講座開催経費について>																
委員	<p>熊本市は、令和元年度、内閣府から「SDGs 未来都市」に選定され、令和2年1月には、大西市長が、「熊本市SDGs キックオフ宣言」を発表し、熊本市として「誰もが幸せに暮らすことができる持続可能な社会」の実現に向けて取り組むことを宣言されました。</p> <p>このことは、市役所が一丸となって取り組むことを意味しており、公民館の事業として、SDGs の市民啓発になる講座を主催講座の中で検討してほしい。</p>																
生涯学習課	<p>ご指摘のとおり、SDGs の市民啓発は重要であると認識しており、数は少ないものの令和3年度より主催講座の中でSDGs を主題とした講座を開催しています。</p> <p>今後も、SDGs の視点を踏まえた主催講座の開催に取り組んでいきます。</p>																
委員	公民館主催講座経費も令和3年度は増加され、その予算が生きるよう実践してほしい。																
生涯学習課	令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止のため主催講座開催数が大幅に減少しました。そのため決算額が少なくなっており、令和3年度予算額と比較した場合、増加（増額）したように見えますが、予算額としては変わりません。しかしながら、今後も主催講座の充実に努めてまいります。																
	<社会教育団体助成経費について>																
委員	助成各団体への事業費補助とあるが、補助対象及び対象外経費の規定を教えてください。青少協の補助対象経費の参考にしたい。																
生涯学習課	<p>事業費補助であるため、その事業に直接かかる費用のみを対象としており、交付要綱において補助対象事業及び補助対象経費について定めています。</p> <p>○参考 熊本市地域公民館連絡協議会及び熊本市地域婦人会連絡協議会事業費補助金交付要綱 第4条 補助の対象となる経費は、前条に掲げる事業に要する経費とし、別表に定めるところにより算出する。ただし、交際費その他補助対象経費として市長が不相当と認める経費は、補助の経費としない。</p> <p>別表（第4条関係）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>経費区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>事業に直接携わる者の人件費</td> </tr> <tr> <td>諸謝金</td> <td>講師等謝礼金</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>講師等旅費交通費、会員旅費交通費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費、印刷製本費、材料費等</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>通信運搬費、広告料、手数料</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>会場使用料、機械器具借上領</td> </tr> <tr> <td>その他これらに含まれない事業運営に必要な経費</td> <td>上記に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める経費</td> </tr> </tbody> </table>	経費区分	内容	人件費	事業に直接携わる者の人件費	諸謝金	講師等謝礼金	旅費	講師等旅費交通費、会員旅費交通費	需用費	消耗品費、印刷製本費、材料費等	役務費	通信運搬費、広告料、手数料	使用料及び賃借料	会場使用料、機械器具借上領	その他これらに含まれない事業運営に必要な経費	上記に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める経費
経費区分	内容																
人件費	事業に直接携わる者の人件費																
諸謝金	講師等謝礼金																
旅費	講師等旅費交通費、会員旅費交通費																
需用費	消耗品費、印刷製本費、材料費等																
役務費	通信運搬費、広告料、手数料																
使用料及び賃借料	会場使用料、機械器具借上領																
その他これらに含まれない事業運営に必要な経費	上記に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める経費																

意見者	意見・質問等要旨
	<生涯学習推進経費について>
委員	生涯学習推進経費は令和2年度と3年度であまり変化がないが、増えるはずではありませんか。
生涯学習課	生涯学習推進経費の内容は、生涯学習情報システムの保守・管理経費となるため、ほぼ一定となります。
	<家庭教育推進事業費について>
委員	家庭教育推進事業の経費に関しては令和3年度に増加しており、充実に向くと期待しています。
青少年教育課	家庭教育の重要性に鑑み、今後も家庭教育に関する学習機会の提供や地域の核となって家庭教育を推進する人材の育成に取り組んでいきます。
	<子ども食堂について>
委員	子ども食堂との連携の様子を教えてくださいありがとうございました。子どもの未来応援基金は、募金や寄付で成り立っているものです。今後は、ぜひ、市の予算の中でもこのような児童福祉への予算付けを図っていただきたいと思います。また、子ども政策課にしかできないような活動の企画推進をお願いいたします。
子ども政策課	今後も引き続き、企画推進に取り組んで参ります。
	<新型コロナウイルスの影響について>
委員	事業に関してはコロナ禍の中にあつて終息が見えない中、自助、公助、共助の精神の下、生涯学習を進める企画がどれだけできるか問題提起したい。また、高齢者も学習したことで社会の役に立てるような学習の方向性で楽しみ生きがいを探ることが本来の生涯学習ではないかと思う。
生涯学習課	オンラインでの活動も増えていますが、高齢者の方から操作が分からないとの意見もあります。オンラインでの活動へ参加するハードルを下げられる取り組みも併せて進めていきます。
委員	P T A活動がどの学校でも会合が開かれず、親同士の交流もなくせめてオンラインの会議でもして顔を合わせての会議をしたいとの声もあり、P T A協議会などからの、啓発活動も必要だと思います。
青少年教育課	熊本市PTA協議会では、大人数でのオンライン会議ができる有償アカウントを取得し、各学校のPTAに貸し出しを行っています。市Pたよりや各区ごとのPTA役員会で、有償アカウントの活用について啓発をし、各学校での役員会での交流で活用していただけることでした。学級懇談会等を行い、zoomのブレイクアウトルームなどを活用して、親同士の交流を進めている学校もあります。
	<文化財保護について>
委員	文化財の保存活用についてもハード面を歴史的財産とすることはもちろんですがソフト面でも支援できると思います。
文化財課	埋蔵文化財の体験発掘や歴史講座の実施回数を増やしていくこと、また新たに「デジタルミュージアム」を構築・提供していくこと等により、より多くの方々に文化財等が身近な存在として認識されることを目指していきます。
	<家庭教育セミナー研修について>
委員	家庭教育セミナー研修、具体案を聞きたい。また、今後の充実に期待しています。
青少年教育課	コロナ禍では、これまでの集合形式での家庭教育セミナーの開催が困難な状況です。そのため、オンライン会議システムを活用した学び合いの機会を提供するとともに、保護者が好きな時間に学習に取り組めるよう、動画配信コンテンツの充実に取り組んでまいります。
	<障がい者サポーターについて>
委員	障がい者サポーター制度の普及も望んでいます。

意見者	意見・質問等要旨
【議事(2)】	令和2年度生涯学習推進計画の取組状況について
委員	生涯学習推進計画検証指標のア、イ、ウのいずれにおいても、ここ2年間は、コロナ禍の影響で、活動が制限されており、評価するのは難しいと思います。アフターコロナでの取り組みに期待したい。 また、施策別評価指標の達成状況について、目標の60%以上の達成が、38.1ポイントとなっていることをどの程度評価して良いかわかりませんが、かなり多くの事業がコロナ禍の影響で取り組めなかった部分があると思うので、コロナ収束後は、達成状況がよくなると期待したい。
委員	生涯学習推進計画検証指標のア、イ、ウの検証値（令和5年）が数値（50%）や増加が記載されていますが、読み取り方を教えてください。
生涯学習課	検証値は計画を進めるうえでの達成目標です。検証値に数値がある（ア）は各年度の実績が検証値（50%）を超えていれば達成とし、検証値に増加とある（イ、ウ）は、基準年度の数値を超えているか検証します。
	<新型コロナウイルスの影響について>
委員	新型コロナ感染症の中、各事業での対応・推進は大変なことと思います。今年度も半年が過ぎようとしていますが、事業の進捗状況はいかがでしょうか。各事業が「コロナだからできない。」というのではなく、何らかの形で推進していけますようよろしくお願いいたします。
生涯学習課	新型コロナウイルスが流行し始めてから1年以上がたち、対策も進んでいます。できる限りの予防策を講じ、各事業を進めていきます。
委員	令和2年度の検証についてもコロナ禍の中であってよい結果であったのは皆様方の努力のおかげだと思う。特に、事業数の開催数が少ない「過去1年間に新たな仲間づくりできた市民の割合」が同水準に保てたのはボランティア活動をしてきた人の努力によるものだと思う。今後もぜひ社会に役立つボランティア活動が増加するよう願う。
	<家庭教育地域リーダーについて>
委員	市民や民間団体、行政との望ましい連携が具体化されることを期待する。また、家庭教育地域リーダー人材育成と活動の場の提供については、私共のNPOも関わっていたが、最近はさびしい状況で、何とか活性化を考えてほしい。
青少年教育課	家庭教育地域リーダーの皆さんに、オンラインによる家庭教育セミナー動画コンテンツの作成に協力していただいています。動画の活用で、コロナ後の学習会開催に結びつけたいと考えています。 平成30年度をもって新規リーダー育成については休止しています。現在は、これまでリーダー講習を修了した方を主な対象としたフォローアップ研修を実施しています。
	<オンライン化について>
委員	熊本市生涯学習推進計画にある施策の体系図では新規事項が盛り込まれているが、特にICT講座とともに社会的ニーズに対応する内容の充実に力を注ぐべきだと考える。
生涯学習課	公民館では毎年度、主催事業としてICT講座を定期的開催し、さらに、令和3年度の重点事業計画の中でも、デジタルディバイド対策を含めたICT講座の実施を掲げています。今後も、ICT等を活用し、ライフスタイルや市民ニーズに応じた学習機会・内容の充実に努めてまいります。

意見者	意見・質問等要旨
【報告1】	令和2年度（2020年度）図書館利用状況について
委員	この頃、小学1年生になる孫が、学校からタブレットを持ち帰り自宅でオンライン授業を受けている。私たちの年代からすると考えられないことです。 また、現在の電子図書館のタイトル数が、21,330タイトルで、指定都市の中で最多ということは、大変すばらしいことです。しかし、小中学生全員がタブレットを使う時代です。これで満足することなく、今後さらにタイトル数が増えていくことを願います。
市立図書館	今後も、多くの市民の方に電子図書館を利用していただけるよう、コンテンツの充実を図り読書に親しむ機会を提供していきます。
委員	世の中がますますICT普及が加速する中、電子図書館のタイトル数が指定都市の中で最多は素晴らしいと思います。市民にもっと普及していくように広報活動の工夫を継続してお願いいたします。
市立図書館	図書館ホームページ、市政だよりなどに電子図書館の利用案内を掲載するなどして、多くの市民の方にご利用いただけるよう周知に努めて参ります。
【報告2】	金峰山少年自然の家再建に伴う新自然の家整備基本計画について
委員	平成31年から閉鎖になったため、大変心配しておりましたが、整備基本計画（案）ができて安心しました。整備にあたっては、市民アンケート調査などしてあるので、その結果を参考に多くの方が気軽に利用しやすいような自然の家になることを望みます。
青少年教育課	令和3年8月に新自然の家整備基本計画を策定しました。今後の整備運営にあたっては、青少年をはじめ、広く市民の皆様が、豊かな自然に親しめる施設となるよう、引き続き利用者ニーズも把握しながら、整備・運営してまいります。
委員	図書館と新自然の家の整備計画も興味深く拝見しました。特に新自然の家の整備にあたってはせっかくの機会ですので、青少年の体験活動が充実するよう、学校のニーズ希望なども考慮し、楽しめる環境が整備されることを期待します。
青少年教育課	新施設では、心豊かでたくましい青少年教育を支援するため、金峰山周辺の豊富な地域資源等を活かしたプログラムを開発・提供するなど、学校とも連携しながら、効果的な体験学習活動ができるよう整備・運営してまいります。
【その他】	その他意見
	<博物館について>
委員	年間パスポートを贈呈くださってありがとうございました。博物館へ行きたいという気持ちが増しました。「銀河鉄道の夜」の企画は大変素晴らしかったです。今後の企画展も楽しみにしています。
	<オンラインの活用について>
委員	学校ではオンライン授業が進められているが、親の方が取り残されているとの意見がPTA役員等から聞いています。リカレント教育の立場からは、やはりまだまだ推進計画の実行が望まれるところでしょう。
生涯学習課	リカレント教育についてはご意見にありました通り、普及に向けての取り組みを進めて参ります。
委員	新型コロナウイルス感染症の影響でいろいろなことが制限されてしまうのが惜しい事業や取り組みがたくさんありました。いつまで続くかわからないコロナ禍にも対応できるような取り組みの仕方を増やしていったほうが良いかもしれないと感じた。
生涯学習課	オンラインが普及していることを踏まえ、取り組んで参ります。
委員	対面で会議が実施できていたら、成果が高かった事業、オンライン（DX）化にむけた面白い事業・取組について情報共有ができただろうと考えると残念に思った。
	<その他ご意見について>
委員	他課との共通理解、連携、打開策の作業などを通して、どうか豊かな生涯学習推進計画かつ実践され、実ることを期待しています。 コロナ禍の中での推進事業、市としても苦慮されていると思いますが、一緒に何とか苦難を乗り越える手立てを工夫され、歩んでいくしかありません。